

テーマ

憲法をめぐる国会情勢について

～秘密保護法と集団的自衛権の問題点を中心に～

お話しして下さる方 **福島みずほさん** (社民党副党首・参議院議員)

期日 **2014年11月 8日(土) 午後2時～4時半**

会場 **日本教育会館 2階 東京教組会議室**

都営新宿線・三田線 メトロ半蔵門線 神保町駅下車4分 JR 水道橋下車 15 分

参加費 **1000円**

集団的自衛権行使容認が閣議決定され、さらに川内原発再稼働や秘密保護法についてのパブリックコメントに多くの反対意見がありながら無視されていくなど、私たちの声が政府に届かないいら立ちがあります。また福島の実況が表に出にくくなって原発再稼働の動きが加速する、日本軍「慰安婦」問題がなかったかのような大宣伝がされるなど、人権や平和がおろそかにされ、戦争への道をひたひたと歩んでいる危機感が募ります。憲法を護るための多くの行動が提起され、反対のデモが盛り上がりつつも、報道での扱いは小さく、また新聞社バッシングの嵐の中で真実が遠ざかるのではと懸念されます。

こんな状況の中、「子どもと女性の人権を考える東京の会」の記念すべき第50回は、ご存じ福島みずほさんにお話しいただきます。日本の行く先が大きく変わる情勢の中で、安倍政権に対する国会の動き自体が見えにくく、阻む力が感じられません。数の力で押し切ろうとする国会で、「秘密保護法」「集団的自衛権」などの多くの問題が、どう議論され、今後どんな展望があるのかについてお話しいただきます。そして女性党首として長く運動してこられた「女性の人権」についても、お聞きしたいと思います。

曲がり角を超えたという認識の上で、今後を考えましょう。今後、道徳教育などの学校現場への攻撃も迫っています。危機感を持って学習し行動したいと思います。地域で共にがんばっている女性や、もちろん男性も、保護者の方にも声をかけ、ぜひ多くの方の参加をお願いいたします。



<主 催> 子どもと女性の人権を考える東京の会
<事務局> 東京教組女性部 ☎03-5276-1311